



1993年 10年目を迎えた桜並木



現在の正門

青少年育成委員会20年の歩み



2008年 現在の貝塚中学校付近



平成7年バイパス風景



平成16年 バイパス風景



愛の一声運動 昭和61年正門にて



平成10年 校門に設置された標語立看板

育成だより

第19号

平成16年3月31日

貝塚中学校区
青少年育成委員会

青少年育成委員会 二十年の歩み

青少年育成委員会会長

関 塚 昭 男

貝塚中学校区青少年育成委員会は、貝塚中開校と共に県青少年健全育成条例施行規則に基づき、二小一中の校区に故田中信夫氏を会長として発足いたしました。

地域に住む青少年の健全な成長を願い、二十年間その主旨に基づいた様々な活動を推進しております。

◎有害図書やビデオ等自販機の撤去運動、◎挨拶と一声運動の推進、◎標語募集と看板設置事業、◎五十一号線バイパス開通に伴う安全な交通路の確保運動、◎若葉大橋開通に伴う交通安全対策、◎貝塚中創立十周年・二十周年記念事業など数え上げれば枚挙にいとまがありません。また、この他にも通年で実施している活動などを学校、PTA、協力会との連携のもと展開し、多くの成果をあげています。

今後も、地域に根ざした活動心がけ、犯罪のない安全で明るい学区づくりを進めていく所存です。

貝塚中学校 創立二十周年を迎えて



平成15年10月25日貝塚中体育館にて

平成十五年十月二十五日、貝塚中学校創立二十周年記念式典が、体育館に於いて厳粛に行われました。当日は、数多くの来賓の皆様の出席を賜り、盛大な式典となりました。地域、学校、PTAが力を合わせ、子どもたちの幸せと、これからの躍進を願うすばらしいものとなりました事を感謝すると共に、ご報告申し上げます。

二十周年記念事業実行委員会一同

記念品担当

羽豆 広和

大勢の方々が期待と喜びを胸にスタートした「創立二十周年記念事業」は無事に終わりました。

私自身も記念品の担当で参加しましたが、地域の皆様や、実行委員の皆様のご尽力で、体育館に音響設備一式と冷水器を贈呈することができました。

これからは、この設備を、子どもたちの教育に活用していただければ幸いです。



現生徒会長

記念誌担当

日暮 規夫

貝塚中学校二十周年「記念誌」の編集活動に参画しました。何を視点を纏めるか、何を後世に伝えるか等委員の方々と教室で協議を重ねました。ふと学生時代にタイムスリップしたような快感を覚えました。

編集が進むにつれ中学校への熱き思いや生徒の健全な成長を望む寄稿に接し、改めて皆様方の教育への関心や期待を痛感した次第です。今後も生徒の成長を見守りたいと思います。



初代生徒会長

渉外担当

永嶋 哲朗

今般の記念事業に際し、渉外担当として無事役目を果たせた事につきましては、地域の方々に厚く御礼申し上げます。併せて、渉外担当の実行委員会のご苦勞に対しても敬意を表します。

地域住民の皆様様の請願により創立された本校の二十周年にふさわしい記念事業として後世に誇れるものであったと確信しております。

地域の方々に愛され、地域と共に発展する貝塚中学校のさらなる飛躍を期待いたします。

平成15年度

桜木小学校の歩み

「ソニー子ども科学教育プログラムへの挑戦（南庭の改造計画）」

学校の南側の庭は、しばしば粗大ごみが捨てられていて、昨年度まで荒れ果てていました。そこで児童会が中心になって、南庭の改造計画を作り、取り組んできました。

頑固な笹の根に苦労したり、重い石を何度も運んだりしながらも子どもたちの地道な活動で南庭は、少しずつ変化してきました。

その間、地域の専門家や技術指導員の先生に、指導していただくこともたくさんありました。

一年が経過して南庭には、木の道・掲示板・虫の家・栽培園・堅穴式住居等ができあがりました。今では、理科・生活科・総合的な学習の時間の学習の場になっています。

このような活動が認められ「ソニー子ども科学教育プログラム奨励賞」をいただきました。計画は、まだまだ進行中で、PTAや地域の方に支えられながら、子どもたちの夢は、益々膨らんでいます。

「桜が丘養護学校との交流教育」

本校では、永年千葉県立桜が丘養

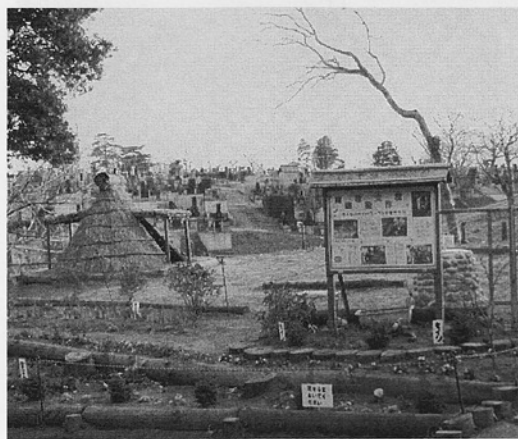
護学校との交流活動を行っています。交流活動は、訪問交流と来校交流があります。

訪問交流は、本校の子どもたちが養護学校を訪問して、養護学校の子どもたちと一緒に活動します。

来校交流は、養護学校の子どもたちが、本校にやってきて、本校の同学年の子どもたちと一緒に活動します。

活動内容は、英語学習・水泳・ゲームと様々です。時には、一緒に給食を食べることもあります。また活動の終わった後、手紙の交換なども行っています。

子どもたちは、数回の交流活動を通して、思いやりの心と、共に生きることの大切さを自然に育んでいます。



改造途中の南庭

平成15年度

北貝塚小学校の歩み

本年度、様々な特色ある教育活動を実施した中の一つに畑や水田を利用した「体験的な学習」があります。

畑は校地西側に隣接し、広さは百五十坪程あります。春に野菜やサツマ芋を全校児童で植え、秋には収穫を祝い、焼き芋大会も実施しました。芋掘りでは土のぬくもりを体感し、焼き芋大会では、自作の芋のおいしさに子どもたちの間に笑顔と感動が広がりました。

また、五年生の「総合的な学習の時間」に実施した米作りでは、原町の水田をお借りし、地元の皆さんのご指導の下、田植えから稲刈り、おにぎりパーティーと一貫した「体験活動」を行いました。初めて田植えを行う児童も多く、体を通して米づくりの苦労や工夫の一端を学んだと思います。

このような自然体験、生活体験、社会体験等が、豊かさの影の部分として子どもたちの中に極端に減っているのが現実です。しかし、いずれの



たくさん掘れたヨ！

体験活動からも地域の皆さんの北貝塚小学校に通う子どもたちへの熱い願いや思いが伝わり、貴重な時間を過ごすことができました。

少し古くなりますが、平成十年十二月の文部省の調査では、自然体験や生活体験が多い子どもほど、正義感や道徳観が身についているという注目すべき結果が出ています。今後

も地域の皆さんのご協力を得ながら、「総合的な学習」や「生活科」の時間を利用し、体験的な学習の充実をめざしたいと思えます。

さて、教育改革が進行する中、そのまとの段階として、いよいよ来年度から千葉市では学校二期制がスタートします。二十一世紀に生きる北貝塚小学校の子どもたちの健やかな成長のため、今後も地域の皆さんのご支援ご協力を切にお願いいたします。





盛大な拍手がおくられた小中合同演奏

小学生から高齢者までがいつしよに音楽を楽しむということはとても素晴らしいことだと多勢の方々から、お褒めの言葉をいただきました。最終ステージは、小学生と中学生の合同演奏となり会場から盛んな拍手がおくられました。

(文責 海宝)

地域ぐるみ音楽祭

十一月八日(土)午後一時より貝塚中学校体育館を会場として地域ぐるみ音楽祭が盛大に行われました。

〈参加団体〉

- 桜木小学校 吹奏楽
- 北貝塚小学校 PTA合唱団マミー・シエル、S 合唱部
- 貝塚中学校 三年四組(貝塚祭最優秀学級)
- 都賀フオルクローレクラブ
- 赤とんぼ
- 貝塚大六天神社囃子連
- 貝塚中学校 吹奏楽部

開演すこし前には、体育館入口に長蛇の列ができ、途中から立見ができるほどのにぎわいになりました。

平成十六年度書き初め展

健全育成部会部長 古屋 嘉三



本年も恒例となりました貝塚中、桜木小、北貝塚小三校による書き初め展を、去る一月十三日より二十三日までの日程で桜木公民館及び都賀コミュニティセンターで開催いたしました。

児童生徒や保護者を

はじめ数多くの地域の皆様に力強い作品、すばらしい作品の数々を鑑賞して頂き、お茶の間での話題の一つになったのではないかと思います。

ところで、今私たちを取り巻く生活環境は日進月歩のごとく大きな変化を遂げています。衛星通信網やコンピュータの普及等先端技術の進歩により、私たちは少なからずその恩恵を受けているのです。

しかし、「心の糧」となる日本の文化に目を向けてみることも大切なのではないのでしょうか。次代を担う子どもたちがこの書き初め展を通して、日本の土壌で育まれ、受け継がれてきた芸術に触れ、それが、子どもたちの心を耕す一助となれば幸いです。

最後に、書き初め展開催に当たり、ご尽力頂きました皆様にご場をおかりして御礼申し上げます。ありがとうございます。

去る九月三十日、貝塚中学校図書室にて、恒例となりました、育成委員会非行対策部とPTA文化部共催の講演会が開かれました。本年度は、講師に飛田武一先生をお招きし、「人は皆、天才に生まれてきた」の演題で、お話しして頂きました。飛田先生は地元都町にお住まいで、臨床心理士の立場から、数多くの子ども達の御指導にあたられています。

講演会

「子どもの可能性を引き出すには、個性を尊重しながら、その子に合わせた指導が必要である。」と、生まれ月による性格の違い等を交えながらの、ユーモアたっぷりのお話でした。育成委員会、貝塚中協力会の皆様、そしてPTA会員、約五十名の参加者は熱心に耳を傾け、質問の時間には、PTA会員から具体的な相談もあり、予定の二時間はあつと言いう間に終わり、閉会後も飛田先生を囲み話が弾む盛会振りでした。

講演

吹く風に秋の気配を感じる心地良い季節に、有意義な時間を皆様と共有する事ができ、うれしく思っています。最後になりますが、講演会の開催に御尽力頂きました皆様には、心から感謝申し上げます。

(文責 笹島)

